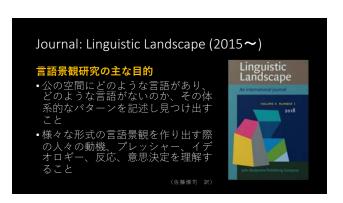


発表の流れ 1. 「言語景観」とは? 2. 言語景観とことばの教育:先行研究 3. 「日本の街・言語景観プロジェクト」の概要 4. 作品の紹介(例:アンジェラ&ソユン) 5. プロジェクトを終えて:学生の学び&教師の学び 6. むすび:言語景観プロジェクトのCCBIへの可能性









言語景観とことばの教育:効果

「言語学習」の観点から

- 言語形式に関する子の ・文字、語彙、表現、文法

- ・サインの目的一言語形式一社会的文脈・場の関係

New Literacy Studies/Multiliteracies/Critical Literacyの観点から

- クリティカルな言語への気づき("critical language awareness")
 - マルチモード・多言語を利用したコミュニケーション
 - ローカルな意味を盛り込んだ創造的なことば使い
 - 比喩的なことば使い (figurative language)
- ・ 文字や言語の選択とその効果、 など

「日本の街・言語景観プロジェクト」

- ・2018年春学期 米国東海岸にある女子大学
- ・日本語2年生後半コース
 - 教科書「とびら」使用

 - 教員2名50分授業、週5回、14週間
 - 2セクション、計16名受講Google Mapsを利用





参加者プロフィール	名前(仮名)	文化的背景	言語	日本経験	探索した街
	サンディー ジャニス	ベトナム系アメリカ人 ヒスパニック系アメリカ人	英語・ベトナム語 英語・スペイン語	無無	大阪·道頓堀
	ジョイ マンディー	韓国系アメリカ人 ヨーロッパ系アメリカ人	英語·韓国語 英語	無無	新宿•歌舞伎町
	ヘザー ケイ	ヒスパニック系アメリカ人 中国人	英語・スペイン語 中国語・英語	無 有	銀座
	リア	ヒスパニック系アメリカ人	英語・スペイン語	無	
	ジン ケイト	台湾系アメリカ人 ヨーロッパ系アメリカ人	英語·中国語 英語	有 無	京都
	アンジェラ ソユン	ヨーロッパ系アメリカ人 韓国人	英語 韓国語·英語	無 有	渋谷
	キャシー ナオミ	中国人 ポルトガル系アメリカ人	中国語・英語 英語・ポルトガル語	有無	秋葉原
	ジェニー シンシア	アフリカ系アメリカ人 ヨーロッパ系アメリカ人	英語 英語	無有	京都
	セレナ	ヨーロッパ系アメリカ人	英語	有	

プロジェクトの概要

目的 (オリジナルは英語)

1)公共の場に存在するいろいろなサインを集め分析し、それらが見る 人にどんな意味を伝えているのかを理解する

2) サインについて、自分の分析・解釈、サインから推測できるその地域について、日本語(ロ頭・筆記、両方)で説明できるようになる

3) ワードプレスに、サインのイメージとそれについてのクリティカルな 分析・解釈をまとめ、日本の言語景観を経験したことがない人にとって 役に立つようなページをデザインする

プロジェクトの概要

- 1. プロジェクトの説明
- 2. Google Mapsワークショップ
- 3. チームで興味をもったサインを10個選ぶ。最低3つ、意味のよくわ からないサインを探す。 ・イメージ(スクリーンショット)は、はっきり見えるか ・複数言語が使われているか

 - ・複数の文字(ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字)が使われているか
 - ・ことば以外のモードが使われているか(例: イラスト、絵、シンボル、地図) ・シンボルのみが使われているか
- 4. グループで4段階に渡る分析を行う。(後述)

- 5. 分析1:クラスで共有・発表する。
- 6. 分析2&3:クラスで共有・発表 する。
- グループで選んだサインの中から3つ選び、そのサインの分析についてエッセイを書く。(Google Doc) (最低2回推敲)
- 8. WordPressワークショップ
- サインのイメージとその分析のエッセイをワードプレスに掲示する。 (最低2回推敲)
- 10.プロジェクトについて学期末に発表をする。





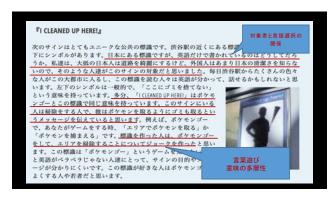
















解釈の多様性

かりにくい標識も 見つけました。そして同じ標識を見ても、考えることが人それぞれ違うことに気がつきまし た。世界には色々な文化があるので、自分が知っている文化や興味のある分野によって考え方 も違うと思いました。さらに渋谷は毎年たくさんの外国人が訪ねる場所だから、英語や他の国 の言語を使った標識が結構多いと考えました。それを見て、日本人は標識を見る外国人がもっ >ました。例えば、 と簡単に理解出来るように、そして標識を面白くするように努力する。 私たちが見つけた二つの英語で書いてある標識は英語が分かる人た 地域と対象者と 言語選択の関係 他の国の人達に対してよく配慮すると思いました。

プロジェクトを終えて

- 学生の学び (自己評価アンケートより)
- ・日本語について
- 外国語の使用について
- ・ことば以外のモードについて
- ・自分自身のもつステレオタイプについて

日本語について

- ・文字の選択
 - 対象者(大人vs.子供)

hiragana, and kanji often depends on the age of the intended reader. (シンシ

• 目的·効果

The style, fonts, and word choice of a sign were carefully chosen to present a particular image; e.g., serious warning signs uses kanji for efficiency, entertainment/commercial signs use katakana to present modern impressions. (+v>-)

I was able to learn about the different effects of using katakana versus hiragana and kanji, especially the visual impacts that the different alphabets had in different contextual landscapes. (2/34)

• ことば遊び

Hearned some useful Japanese vocabulary and a little bit about word play. $(\vec{\tau} \cup \vec{\tau}_{\mathcal{T}} \leftarrow)$ The Nice F-ee Meet You! sign was very clever and easy to understand for an English speaker once you realized it was a pun. $(\vec{\tau} \cup \vec{\tau}_{\mathcal{T}} =)$

外国語の使用について

- ・対象者(日本人vs.外国人、何語話者)によって異なる言語の選択
- ・外国語(英語・フランス語)のシンボリックな役割

Signs using other languages may be providing information for people who do not speak Japanese, while often times the use of other languages is for purely "aesthetic" purposes. (#b/+) Language can also be used as a marketing strategy to make the sign stands out more or makes it

English is used often in Japan, not necessarily as a device for allowing English speaking people to read stuff, but also as a stylistic choice. (シンシア)

• 英語の支配的地位

The most dominate languages used were Japanese and English--I think the use of Chinese and Korean was equally a lot less. (アンジェラ)

ことば以外のモードについて

- ・言語以上のコミュニケーションで対象者を広げる
- イメージとデザインが解釈に影響

That pictures often greatly influence how people interpret a sign. A helpful picture can transcend language and communicate the content of the sign even to those who do not speak the language, but it can also confuse the reader or mislead them. ($\tau v \bar{\tau}_{\ell^{-}}$)

Use of images and design of signs can greatly affect our interpret especially for people who may not understand Japanese. (サンディー

I mostly noticed a distinction in the advertisements, which made many references to pop-culture and used foreign languages to draw attention to their product...It also seems that many signs attempt to <mark>appeal to a large age range, relying on the different writing style:</mark> (hiragana, katakana, and kanji), as well as images, to appeal to both children and adults

自分自身のもつステレオタイプについて

・「外国人」=英語話者・西洋人という無意識の前提

We often in our analysis conflated 'foreigner' with 'English speaker' though those aren't necessarily the same thing. (۶۷۶۶)

Considering our perspective on what type of image when we say "Japanese people, locals," and "foreigners." Those terms encompass a much larger demographic and cultural backgrounds of those who identify with terms like those. (9 > 7 < -)

I didn't realize before, but my assumption was that most tourists would be western so when I saw the signs that featured Chinese and Korean it was unexpected and I realized that naturally there would be a lot of tourists from nearby countries. (97)

教師の学び:学生の「?」に直面して 「日本人」が当たり前に思っている ことは、外にいる人間にとっては当 「日本人」の常識(規範・前提)が同 じ常識を持たない者を排除する状 況を作り出す 「日本人」が常識としていることの 不合理性や理不尽な点に気づく

結びにかえて: 言語景観プロジェクトのCCBIへの可能性

- ・学生を「正しい」理解に導くこと、教師の目論んだ批判的な「読み」を目的 としない
- ・学生が持ち寄る「わからない」・教師が予期しなかった解釈を出発点とし、 標識・広告という社会文化的産物をめぐる多様な解釈について議論し合う
- ・お互いのもつ異なった「当たり前」の規範を明示化し、その違いをめぐって
- 「教師vs学習者」、「母語話者vs 非母語話者」、「知識を持つ者vs持たない 者」といった2項対立的な関係に揺さぶりをかける
- ・違う解釈や理解は当然であり、まずはその違いを理解し、それを納得し受け入れたり、あるいは変更を求めたりしながら、よりよい標識、つまりは、社会を創ることに参加できる個人を育てていく

主要参考文献

Cenez, Jazone, and Gorter, Durk. (2008). The linguistic landscape as an additional source of input in second language acquisition. IRAL, 46, 267-287.4

Sayer, Peter. (2009). Using the linguistic landscape as a pedagogical resource. ELT Journal, 64(2), 143-154.

Shohamy, Elana, and Waksman, Shoshi. (2009). Linguistic landscape as an ecological arena: Modalities, meanings, negotiations, education. In E. Shohamy & D. Gorter (Eds.), Linguistic landscape: Expanding the scenery (pp.313-330). New York: Routledge.
Chesnut, Michale, Lee, Vivian, and Schulte, Jenna. (2013). The language lessons around us: Undergraduate English pedagogy and linguistic landscape research. English Teaching, 12(2), 102-120.

Rowland, Luke. (2013). The pedagogical benefits of a linguistic landscape project in Japan. International Journal of Bilingual Education and Bilingualism, 16(4), 494-505.

Malinowski, David. (2015). Opening spaces of learning in the linguistic landscape. Linguistic Landscape. Linguistic Landscape. 1(1-2), 95-113.